



BG塾「磯遊び」 磯場に生息する生物の重要性を



7月27日、小浜地区の海岸で、BG塾「磯遊び」を開催し、町の同塾に通う小中学生50人が参加しました。

講師にはNPO法人くすの木自然館の浜本^{はく}理事長を招き、子どもたちは、浜辺のヤドカリや小魚、エビなどの生物を捕まえて、注意深く観察。その生体について深く考えた後、浜本さんから生物の生体や役割の説明を受けました。浜本さんは「磯に生息する生物の重要性を少しでも理解して大人になってほしい。自然のありがたみを考えるきっかけになれば」と子どもたちに語りかけました。

川床GGクラブ国民スポーツ大会へ出場 力を合わせて大会へ



7月30日、川床GGクラブの福寄勝行主将らメンバー5人が川添町長の元を訪れ、5月27日に開催された国民スポーツ青森県大会GG競技会の鹿児島県予選会で優勝し、9月26日・27日に青森県平川市で開催される国民スポーツ大会へ出場することを報告しました。

福寄さんは「やっとの思いで予選優勝を果たした。残り2カ月しっかり練習して、みなで力を合わせて悔いの無いように気合を入れて試合に臨みたい」と抱負を述べました。

獣医師会から赤潮被害の義援金 赤潮被害の復興のために



8月4日、公益社団法人鹿児島県獣医師会出水地区獣医師会（北野吉秋会長）の北野会長ら3人が、川添町長と東町漁業協同組合の山下伸吾組合長の元を訪れ、赤潮被害における義援金を手渡しました。

北野会長は「今回の赤潮被害に対して、少しでも役立てていただきたい」とあいさつし、山下組合長は「義援金は、被害にあった漁業者や、関係者のために活用させていただき、我々としても復興のため今後も尽力していく」と話しました。

町教職員として町の郷土を学ぶ 学びを子どもたちへ



8月5日、令和8年度長島町教職員のための長島巡検を開催しました。町の史跡と自然について知見を深めるため、毎年町教育委員会が実施しています。

今回は、町教職員11人が郷土史を基に歴史民俗資料館職員の山崎友喜さんから講話を受けました。同館で長島郷土の全般を学習し、小浜崎古墳群・堂崎城跡・遣唐使船漂着記念碑などの文化財を見聞しました。川原雅^が空先生（長島中）は「今回学んだことを生徒に伝えて、興味をもってもらいたい」と振り返りました。